

■志津のお宝発見！地域と作る私たちの学校（志津小学校）

1 【活動の趣旨】

総合的な学習の時間での支援に関わって、子ども達が地域に愛情をもち、将来地域のために活動できるようにどのような学習活動をプログラムしていけばよいか熟議し、志津のお宝は「自然」と「歴史」であることをもとに系統的な学習を仕組んでいこうと話合った。

2 【特徴的な活動内容】

（1）3年総合的な学習の時間「志津のお宝発見」

3年生の社会科の発展学習で、志津学区の町探検をして地域の方々から自然や歴史についての話を聞いた。伯母川を見に行き魚を調べたり地域のお寺や学校にある城跡を見学して詳しく教えてもらったりした。参観日には、保護者グループごとに調べたことを発表し、地域に対する愛情をもつことができた。



（2）全校「けん玉一本勝負」とけん玉クラブ

毎月1回朝の時間に決められた技を一発勝負でどれだけの人ができるかを「けん玉一本勝負」と名付けて競っている。また、4年生以上はけん玉クラブもあり、地域の方にも教えてもらっている。技の上達だけでなく、子ども達の集中力や自己肯定感を高めるために行っている。また、地域の世代間交流にも長年寄与している。

3 【実施に当たっての工夫】

- コロナ禍における対応として、リモートでのオンライン学習を実施した。見学や体験をするときは、一度に大勢が集まらないようにクラスごとに時間を分けたり、見学先を子ども達が選んで少人数で学習したりした。
- 活動後には、子ども達が書いたお礼状や感想文などを講師や地域ボランティアの方々に渡して、今後も支援や交流をお願いしている。

4 【事業の成果】

- 子ども達にとって、地域の人と関わり地域のことを学ぶ中で、地域に対する愛情も芽生えてきている。学習発表会を通して、志津の宝である「自然」や「歴史」を子ども達が意識して守っていこうとする態度が感じられた。

5 【事業実施上の課題】

- まだまだ十分ではないが、地域の課題に対して子ども達が提案や発信できるように総合的な学習の時間を3年から6年まで系統的に計画し、地域協働合校の取組と連携していきたい。